



“地域のことは地域で考えよう”

2017年4月27日

## おきぎん県内景況・速報 2017年3月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高も前年同月を上回る。  
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。  
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月と同水準となり、宿泊収入(推計値)は前年同月を上回る。

#### ■企業倒産

件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

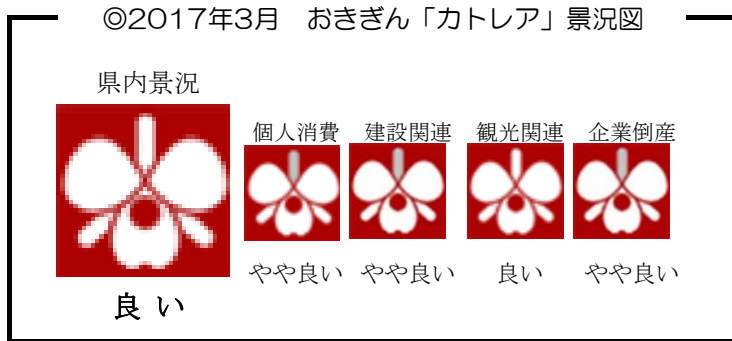
### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2017年3月分)



◎概況：県内景況は、拡大している。

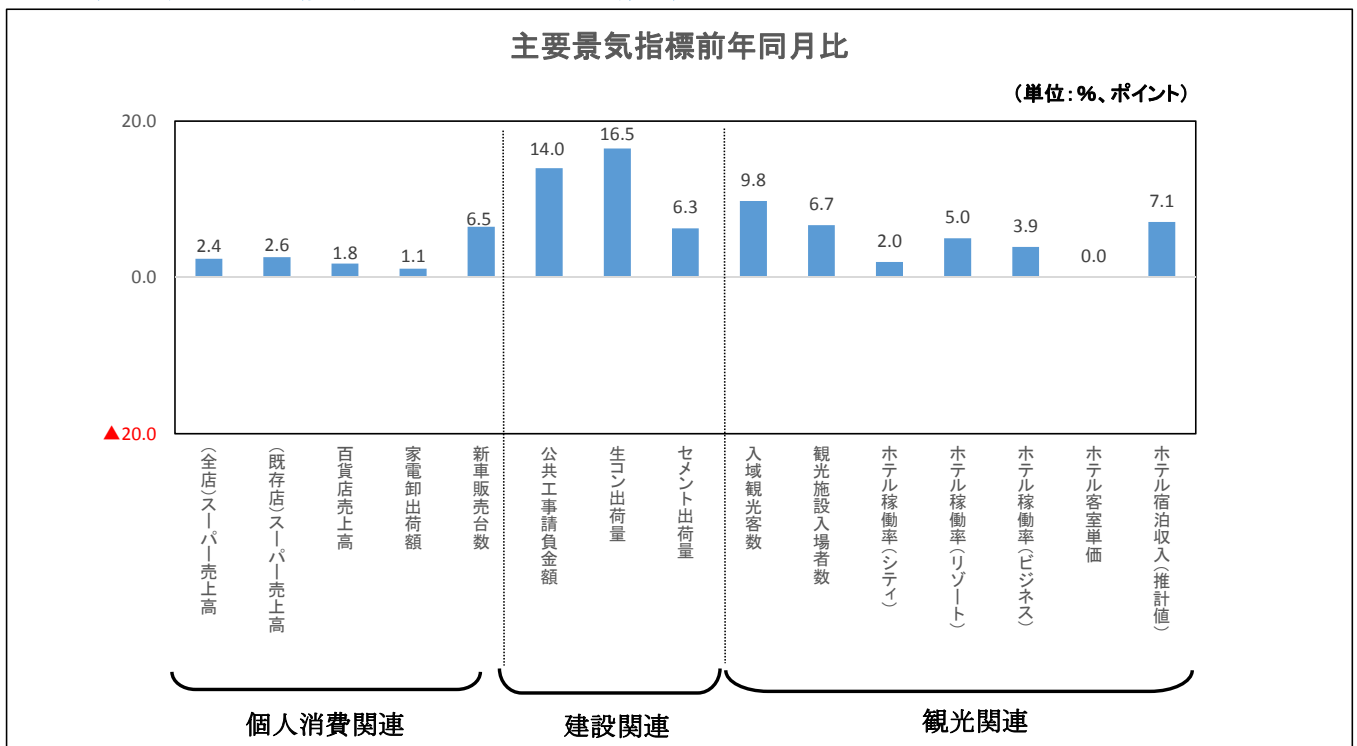
3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は、新規催事開催による集客効果などから「食料品」や「雑貨」などの売れ行きが堅調となり、4ヵ月連続で前年同月上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、エアコンの出荷額増などにより、全体としては3ヵ月ぶりに前年同月上回りました。新車販売台数は3ヵ月連続で前年同月上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、市町村やその他の公共団体発注による大型工事などにより前年同月上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月上回りました。

観光関連では、入域観光客数は54ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月と同水準となり、宿泊収入(推計値)は前年同月上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

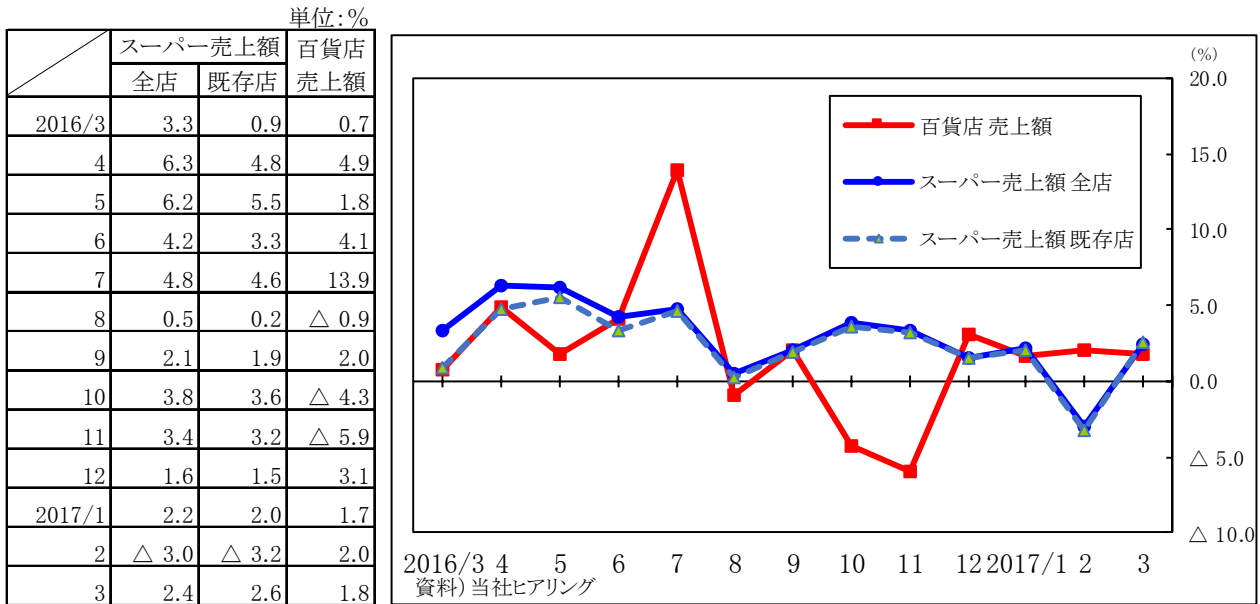
(2014年2月の上方修正後から38ヵ月連続で判断維持)





■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高も前年同月を上回る。

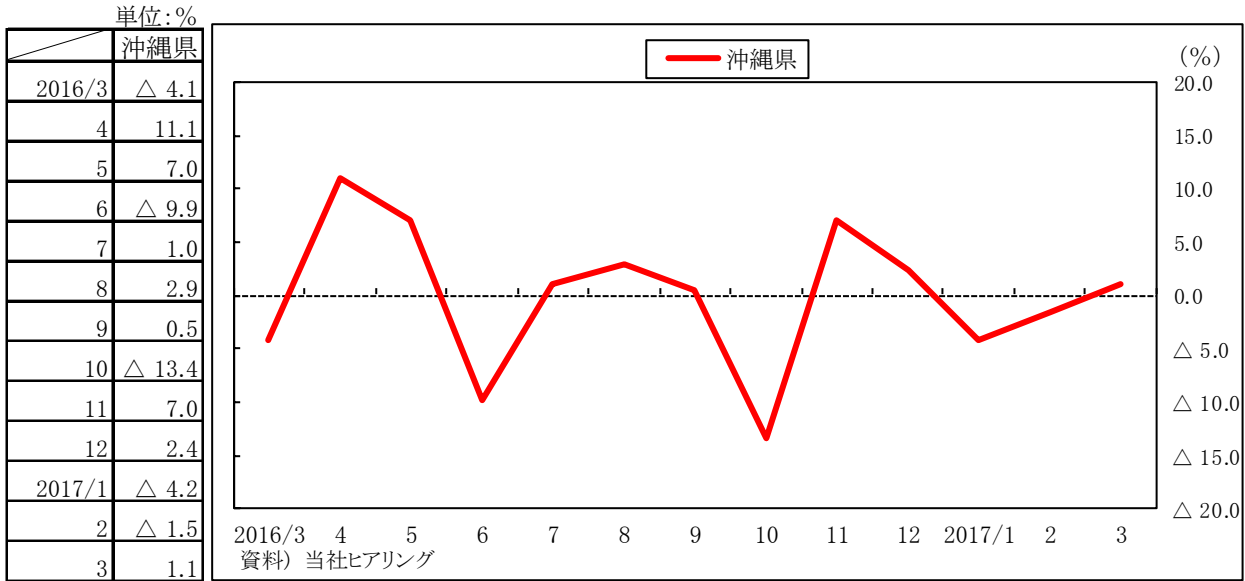


注) 前年同月比

3月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 2.4%増)」はウェイトの高い「食料品(同 2.7%増)」などの売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。「既存店ベース(同 2.6%増)」も、一部店舗の移転休業による売上減少があったものの、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 2.9%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが伸び前年同月を上回りました。また家電を含む「家庭用品(同 2.3%増)」は、エアコンやテレビなどでは買い替え需要などにより売れ行きが堅調だったほか、インバウンド(訪日観光客)による雑貨(化粧品、小物類)需要も堅調であったことから前年同月を上回りました。「衣料品(同 1.0%増)」も前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、新規催事開催による集客効果などから「食料品」や「雑貨」などの売れ行きが堅調となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 1.8%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 2.2%減)」は「婦人服(同 2.5%減)」の伸び悩みに加え、「子供服(同 17.5%減)」も式服需要が伸びず、全体を引き下げました。一方で、「食料品(同 10.1%増)」は、新店舗開店によるギフト需要(菓子類)や、物産展の開催により、前年同月を上回りました。また、継続的なインバウンド需要による「雑貨(同 3.9%増)」や物産展を開催した「家庭用品(同 10.3%増)」は、前年同月を上回りました。

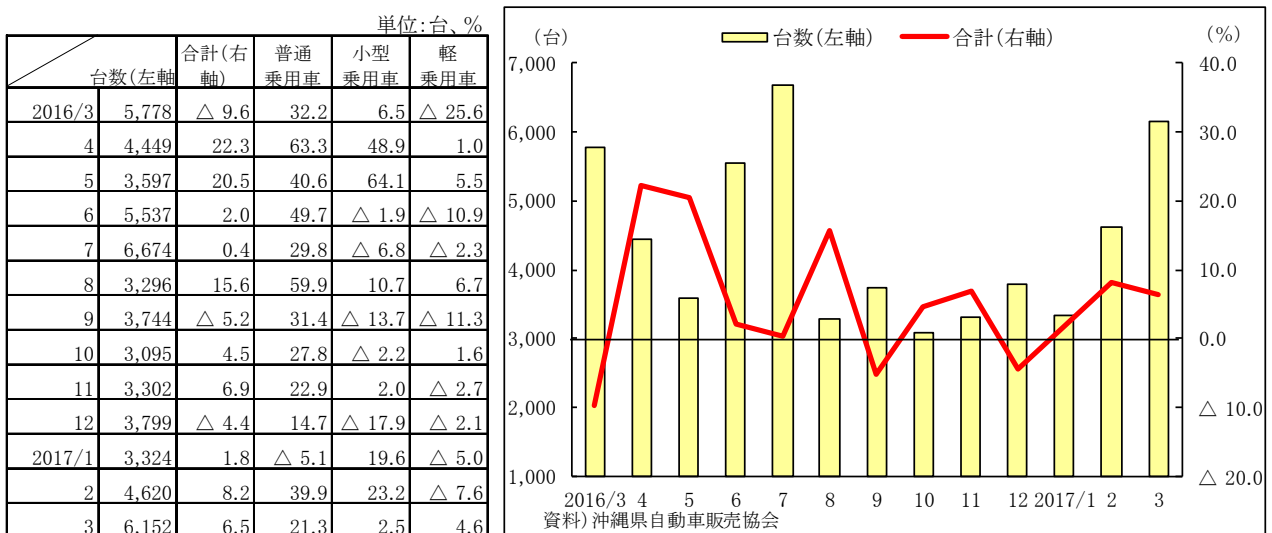
②家電卸出荷額…エアコンの需要増加などから前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の需要減少などで前年同月を下回ったものの、エアコンの出荷額増などにより、全体としては3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。(同1.1%増)。品目別では、「テレビ(同1.6%減)」、「冷蔵庫(同21.7%減)」、「洗濯機(同21.4%減)」は前年の新型商品効果による伸びの反動がみられました。一方「エアコン(20.6%増)」は、高付加価値商品の投入などにより、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…普通・小型乗用車、軽乗用車の需要増加などから前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

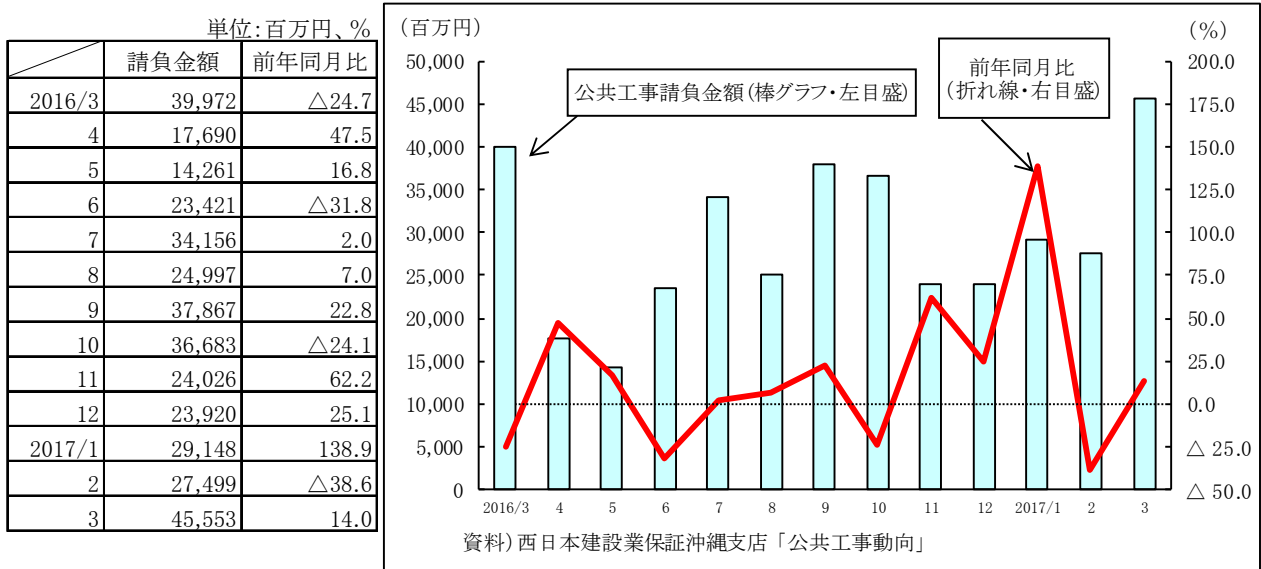
**新車販売台数**は、全体で6,152台(同6.5%増)となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では「普通乗用車(同21.3%増)」はレンタカー需要の増加により前年同月を上回り、「小型乗用車(同2.5%増)」は自家用車需要の増加から3ヵ月連続で前年同月を上回りました。また、「軽乗用車(同4.6%増)」は、前年の軽自動車税増税の影響等により落ち込んだ反動から、前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



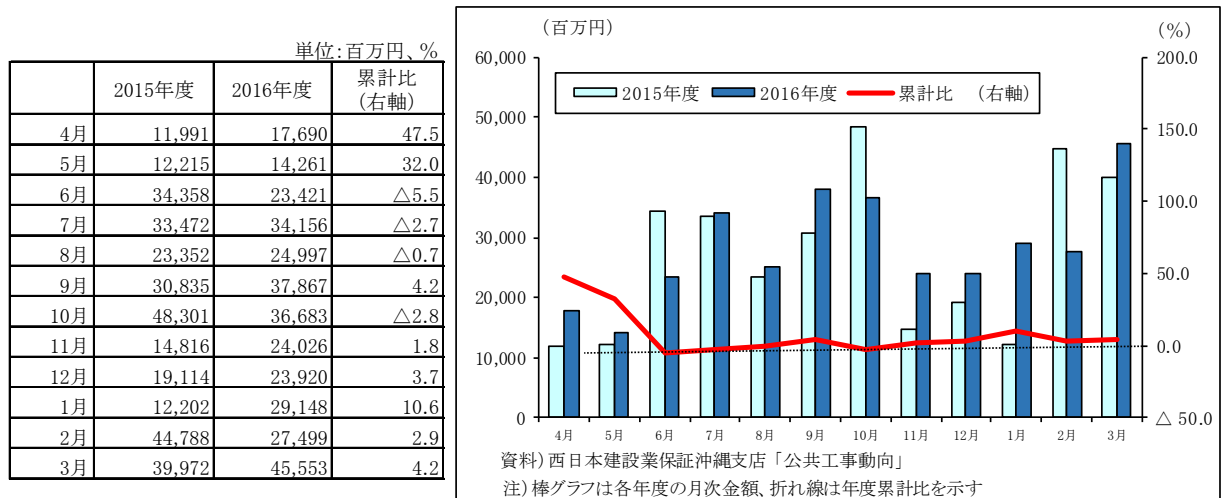
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



3月の**公共工事請負金額**は、前年同月比14.0%増の455億5,300万円となりました(2ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「国(同31.3%減)」や「沖縄県(同40.2%減)」は前年同月を下回ったものの、「市町村(同127.6%増)」は宮古島市リサイクルセンター(仮称)建設工事の他、多良間村での製糖施設関連工事などの大型工事、「その他の公共的団体(同284.3%増)」は、沖縄科学技術大学院大学関連工事の他、那覇空港国内線旅客ターミナル関連工事などの大型工事の前年同月を上回りました。

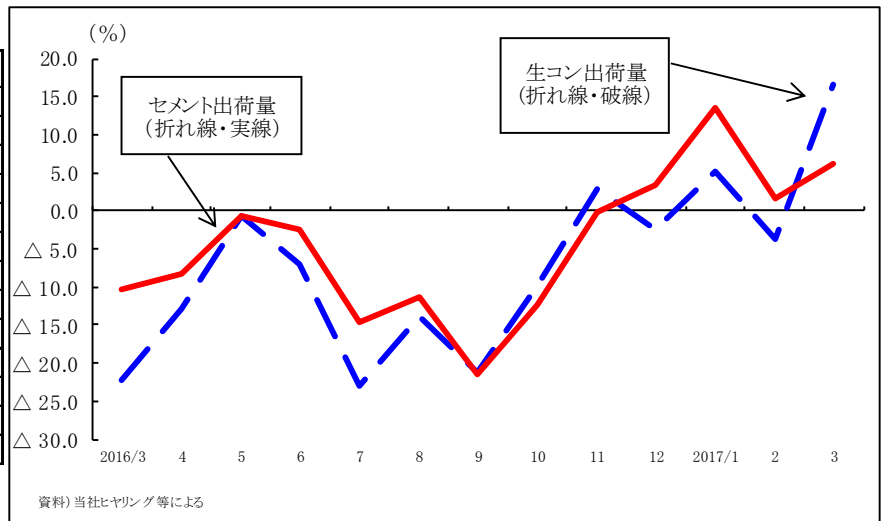
【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。



今年度4月～翌年3月までの累計を前年度同期と比較すると、4.2%増となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに同年同月を上回る。

単位:前年同月比(%)		
	生コン	セメント
2016/3	△ 22.2	△ 10.2
4	△ 12.7	△ 8.4
5	△ 0.7	△ 0.7
6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4
9	△ 21.2	△ 21.4
10	△ 9.9	△ 12.4
11	3.0	△ 0.1
12	△ 2.4	3.5
2017/1	5.1	13.5
2	△ 3.7	1.6
3	16.5	6.3

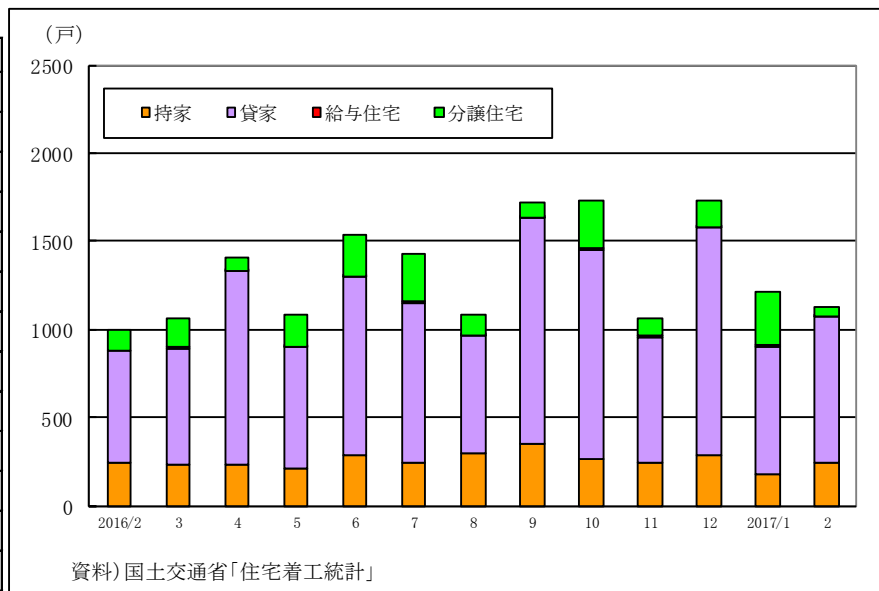


(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、生コンの出荷量は 16.5%増と 2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より 23.1%上回り、民間工事向け出荷も 12.7%上回りました。セメント出荷量は 6.3%増と 4 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(2月)…着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%		
	着工戸数	前年同月比
2016/2	1,000	△25.3
3	1,062	8.4
4	1,409	20.2
5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1
8	1,082	△38.7
9	1,714	12.2
10	1,731	54.8
11	1,057	△19.1
12	1,728	32.3
2017/1	1,215	△11.1
2	1,125	12.5

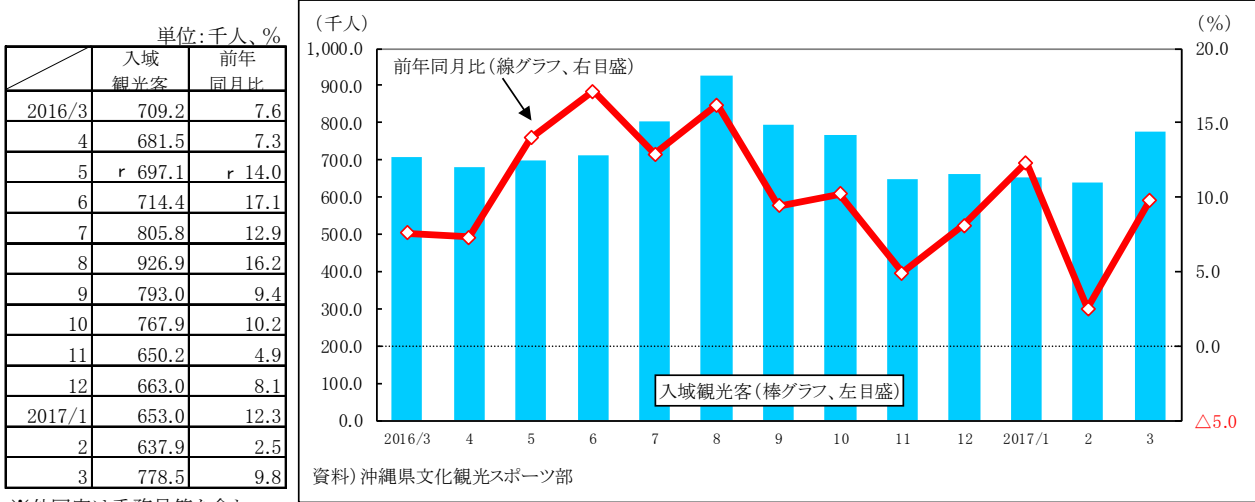


**新設住宅着工戸数(2月)**は、全体で前年同月比 12.5%増の 1,125 戸と 2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウエイトの高い「貸家(同 28.5%増)」や「持家(同 1.7%増)」は前年同月を上回った一方で、「分譲住宅(同 53.3%減)」は下回りました。



■観光関連： (良い)

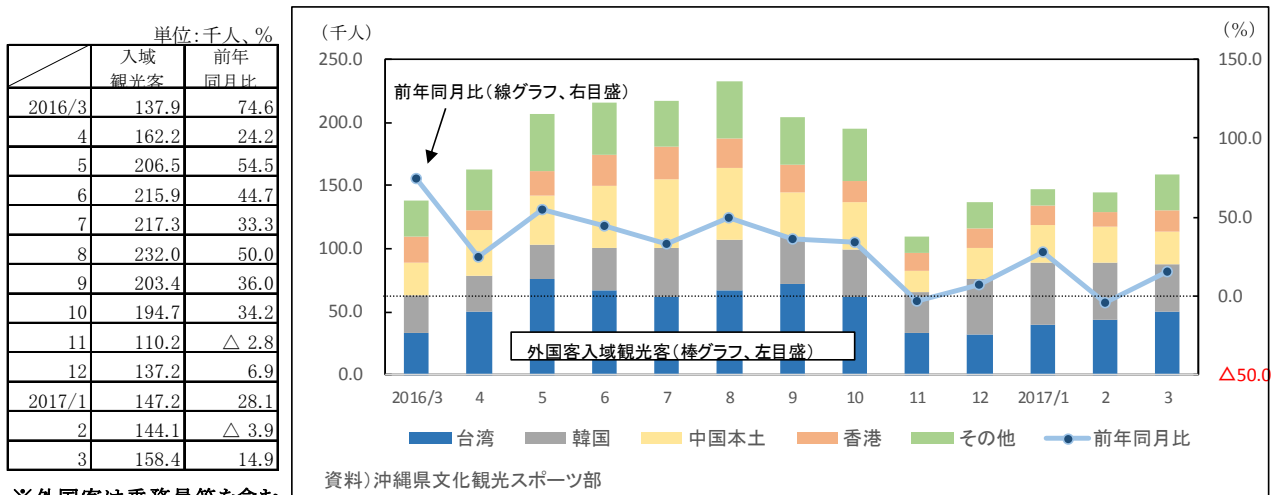
①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…54ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

※上記 2016 年 5 月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(2016 年 8 月 19 日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

3月の入域観光客数は、69,300人多い778,500人(前年同月比9.8%増)となり、54ヵ月連続で前年同月を上回りました(3月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同8.5%増)」は620,100人と、個人旅行を中心とした春休みの旅行需要が好調に推移したほか、離島路線等においても入込が好調だった事などから、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

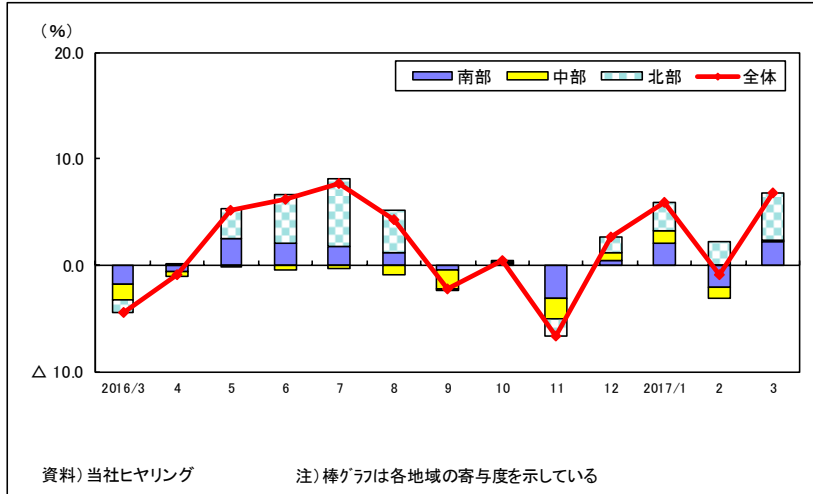
他方、「外国客(同14.9%増)」は、158,400人と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。中国及び香港からの入込については、「大型クルーズ船」の寄港回数減少等により年同月を下回ったものの、全体としては台湾、韓国における航空路線の拡充効果等により空路客が増加し、前年同月を上回りました。

「台湾(同48.5%増)」「韓国(同29.2%増)」「中国本土(同1.6%減)」「香港(同17.2%減)」

※乗務員等を除く2017年3月実績=全体765,200人(同10.4%増)、外国客145,100人(同19.2%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2016/3	△ 4.4	△ 4.7	△ 11.4	△ 2.2
4	△ 0.9	△ 1.5	△ 3.0	0.3
5	5.2	6.5	△ 0.8	5.7
6	6.2	5.2	△ 3.6	9.2
7	7.7	5.1	△ 3.1	11.8
8	4.3	3.5	△ 6.9	7.3
9	△ 2.3	△ 1.3	△ 15.0	△ 0.1
10	0.4	0.3	0.9	0.4
11	△ 6.7	△ 7.4	△ 14.2	△ 3.7
12	2.7	1.1	5.0	3.5
2017/1	5.9	5.4	8.9	5.5
2	△ 0.9	△ 5.6	△ 7.6	4.3
3	6.7	5.5	1.6	9.0

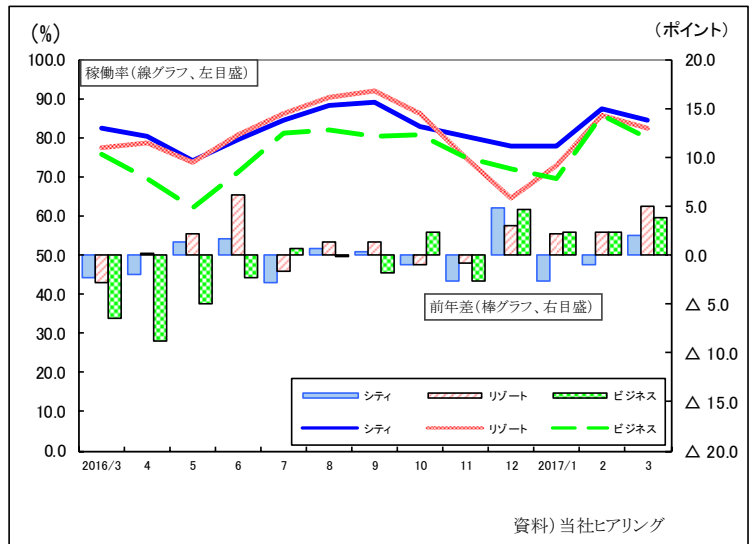


※調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より6.7%増加(2ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同5.5%増と2ヵ月ぶり、中部は同1.6%増と2ヵ月ぶり、北部は同9.0%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2016/3	82.3	77.3	75.9	△ 2.3	△ 2.8	△ 6.5
4	80.1	78.6	69.3	△ 2.0	0.2	△ 8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△ 4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△ 2.3
7	84.4	86.2	81.3	△ 2.8	△ 1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△ 0.2
9	89.2	92.1	80.4	0.3	1.4	△ 1.8
10	82.9	86.2	80.9	△ 1.0	△ 1.0	2.3
11	80.2	75.1	75.0	△ 2.7	△ 0.9	△ 2.6
12	77.6	64.4	72.0	4.8	3.0	4.6
2017/1	77.9	73.0	69.6	△ 2.6	2.1	2.3
2	87.3	85.6	85.7	△ 1.0	2.3	2.3
3	84.3	82.3	79.8	2.0	5.0	3.9



注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

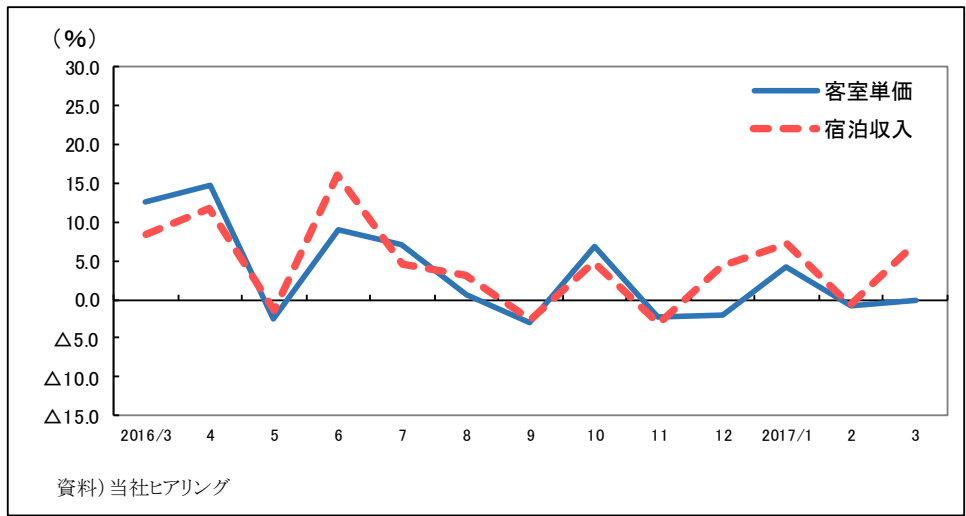
県内ホテル稼働率は、シティホテルが84.3%と2.0ポイント増加(3ヵ月ぶり)、リゾートホテルが82.3%と5.0ポイント上昇(4ヵ月連続)、ビジネスホテルが79.8%と3.9ポイント上昇(4ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月と同水準、宿泊収入は前年同月を上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2016/3	r 12.5	r 8.4
4	14.7	11.8
5	△2.4	△1.5
6	9.1	16.1
7	7.2	4.6
8	0.7	3.1
9	△2.9	△2.5
10	6.8	4.9
11	△2.2	△3.0
12	△1.9	4.3
2017/1	4.2	7.1
2	△0.8	△0.6
3	0.0	7.1



※対象施設数: 27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

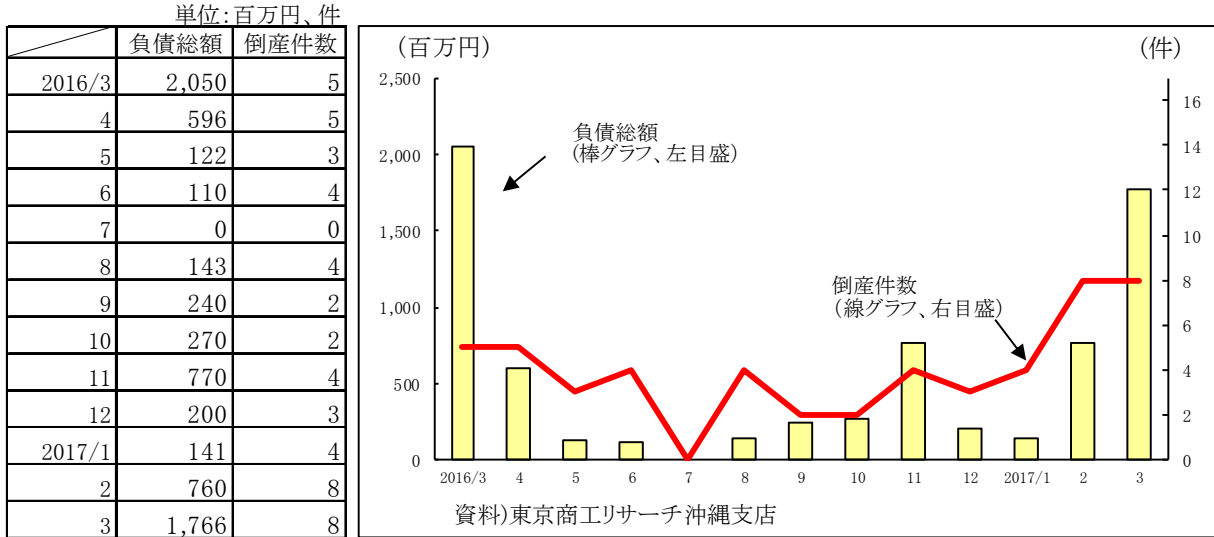
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月と同水準となりました。**宿泊収入**は同7.1%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (やや良い)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

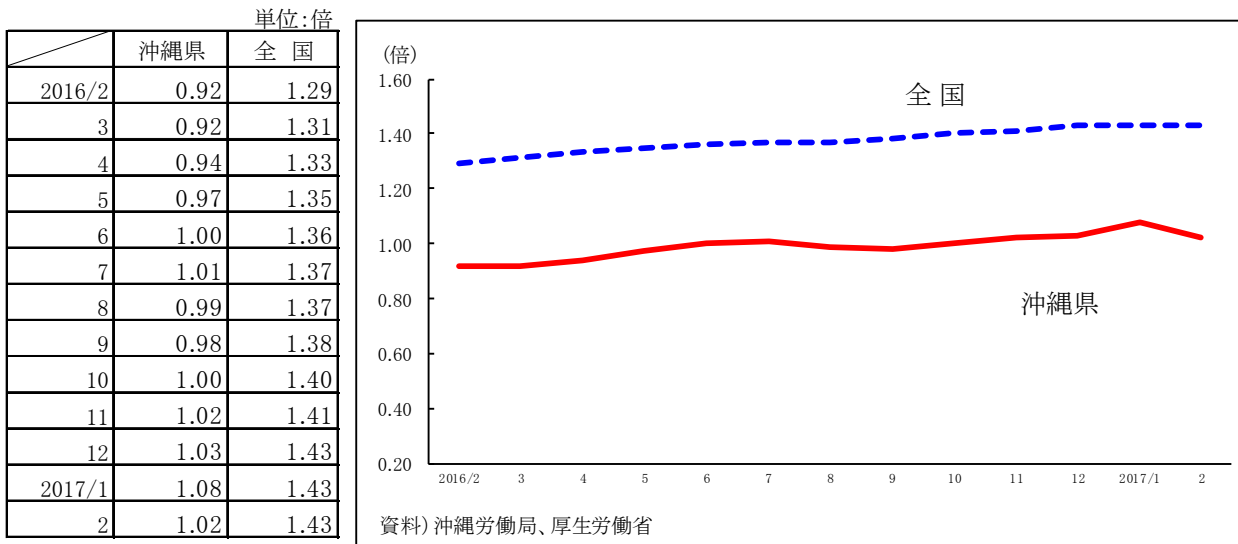


3月の**企業倒産件数**は、8件(うち大型倒産1件、大口倒産は無し)となり、前年同月より3件増加(同60.0%増)しました。**負債総額**は17億6,600万円となり、前年同月より13.9%減少しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(2月)…沖縄は前月より低下、全国は同水準。



注) 季節調整済

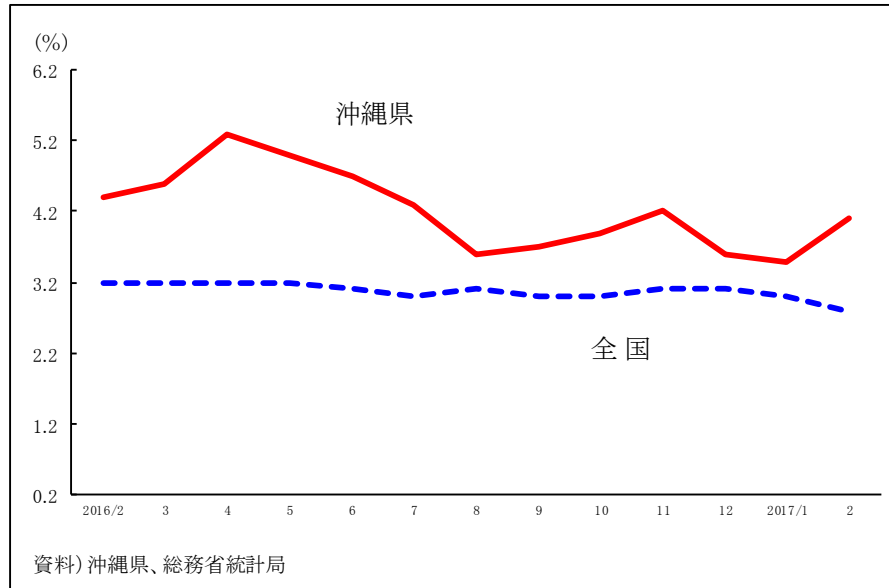
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

2月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比3.5%減の27,675人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比2.5%増の27,190人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.02倍となり前月より0.06ポイント低下しました。

(参考) 完全失業率(2月)…沖縄は前月より上昇、全国は低下。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2016/2	4.4	3.2
3	4.6	3.2
4	5.3	3.2
5	5.0	3.2
6	4.7	3.1
7	4.3	3.0
8	3.6	3.1
9	3.7	3.0
10	3.9	3.0
11	4.2	3.1
12	3.6	3.1
2017/1	3.5	3.0
2	4.1	2.8

注) 季節調整済



2月の完全失業率(季節調整値)は、4.1%となり前月より0.6ポイント上昇しました。